http://www.fuzoroi-prj.or.jp/ 特定非営利活動法人 NPO ふぞろいプロジェクト

ふぞろいプロジェクト

～Always　里ライフプロジェクト～

第３回農業体験のご報告

Always　里ライフプロジェクト第３回農業体験を６月１９日（日）に開催致しました。

小河内Ｏプロジェクト

今回お世話になったのは、「特定非営利活動法人　小河内Ｏプロジェクト」の皆さんです。

今回は初めての試みとして、農業の現場を見る前にミーティングを行い、Ｏプロジェクトの理事の方々と広島市と安佐北区役所の職員の方２名を交えて、参加者の方々との活発な意見の交換が行われました。

ミーティングの中で、広島市役所の深見さんからは「広島市内の農村地区で貸してもらえる空家は２件だけの状況。市としても過疎地域にテコ入れをしたいが、難しい課題を多く含んでいる」、安佐北区役所の濱谷さんからは「若い人が農業を始めて、やめるケースが多い。農業で生計を立てていくのは非常に難しく、２年程度の時間、勉強と計画を立てることは最低限必要なことです。」非常に辛口ではあったが農業を取巻く現状について、包み隠さず話して下さいました。

そんな中、Ｏプロジェクトでは農業を子供達に知ってもらおうと、市内の小学生に田植えを体験して貰う等の取り組みを行っています。

右の写真は白島小学校の生徒が今年の春に苗を植えた水田です。小学生が手で植えたので並びがバラバラですね、中々機械のようにはいきません(＾＾;)

子供達が少しでも農業に関心を持ってくれるとよいですね。

O プロジェクトでは使い終わった割箸を炭として再利用するという取り組みを行っています。

細い割箸が形を保ったまま、見事な炭になっていました。これが高度な職人芸であることは、素人目にも分かります（＾－＾）

この割箸炭と杉の枯葉、木炭をセットにして紙袋に詰めたものを、**着火材「弥太郎君」**として販売しています。

袋ごと火をつけるだけで炭火焼ができる優れもので、ナフコで販売できるようになりました。みなさん機会がありましたら、是非お試し下さい。

また、杉の落ち葉を拾うことで里山の整備にも繋がっています。今となっては珍しくなってしまったササユリも、群生する自然がまだ残されています。

こういう身近な所で、自然を感じることが出来ます。

今回は、農村地区での美しい里山や自然を守る取り組み、そしてそれを産業として活かしていこうとする取り組みを紹介させて頂きました。

山村地区で農業をするにあたり、里山や自然の保護や農村の町おこし、産業振興等は避けては通れない問題です。

今回、見聞きしたことは農家を志す上で必ず役に立つと思います。O プロジェクトの皆様、本当にありがとうございました。

～Always 里ライフプロジェクト～第３回農業体験にご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。ご感想、ご意見は「ふぞろいプロジェクト」事務局まで提出をお願い致します。

新規の参加者の方も随時募集しております。お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非お誘いの上ご参加ください。申込みのご連絡、お待ちしております。

ＮＰＯ法人ふぞろいプロジェクト広島事務局
広島市中区本川町１－１－２２－６０３
TEL/FAX：０８２-２９６-０８９８
Eメール：fuzoroiproject@drive.ocn.ne.jp
URL：http://www.fuzoroi-prj.or.jp/